

■目的

今治市地域公共交通網形成計画において、地域住民、事業者及び行政の連携を深めながら路線バス運行の見直し・改善を行い、生活の足を確保するとともに住民の利用拡大に向けた意識を醸成するため、ワークショップや意見交換を実施し、地域に適合した公共交通のネットワークの構築を推進する。

■ワークショップの流れ

地元住民しか持っていない情報や、感覚・意見を引き出し、より適切な案を提示・合意していくため、以下の手順でワークショップを実施する。

第1回WS：地域の公共交通に対する**認識・課題の共有**

- ・市及び対象路線の利用・採算状況等を共有
- ・地域の移動実態やニーズ、課題についての意見・情報収集



第2回WS：第1回意見を踏まえた**見直しの方向性**、課題対応に関する意見聴取・情報収集

- ・運行のタイプやサービスレベルの方向性についての意見聴取
- ・地域の関わり具合、活用できる資源についての意見・情報収集



第3回WS以降（予定）：**見直し内容・工夫**に対する意見聴取・情報収集、進め方の確認

- ・運行イメージの提示、意見確認
- ・効果的な運行に向けたルール・体制と役割、その他工夫についての意見交換
- ・実証運行や関連施策を含めたスケジュール等の提示、確認

■ワークショップの実施概要

地区	対象路線	第1回 移動実態・ニーズの把握	第2回 見直しの方向性について
朝倉	朝倉線	実施日： 10月14日（水） 19：00～20：30 場所：朝倉公民館	実施日： 12月3日（木） 16：30～18：00 場所：朝倉公民館
吉海	田浦線	実施日： 10月6日（水） 19：00～20：30 場所：吉海学習交流館	実施日： 12月2日（水） 16：00～17：30 場所：吉海学習交流館



■第1回WSの実施内容

地域が抱える公共交通の課題を認識してもらうため、市及び対象路線の利用・採算状況等を共有するとともに、実態に則した見直しを行うため、地域の移動実態・ニーズについて把握。

次第	内容	時間	
1. 開会のあいさつ	ワークショップの目的・進め方の説明	5分	
2. 情報提供・共有	・市の公共交通の状況、路線の利用・採算状況等の現状について説明	5分	
3. 意見交換	<テーマ1> 地域の皆様の移動の実態・問題について	地域の移動の実態や諦めている移動の有無等について共有	35分
	<テーマ2> 考えられるバスの工夫について	移動の問題に対し考えられる、バスの工夫・改善について検討	30分
4. 発表	意見交換の内容について共有	10分	
5. 閉会のあいさつ	総評、アンケートの説明	5分	
		計90分	

■第2回wsの実施内容

見直しの方向性についての地域の意見を聴取するとともに、見直しで課題となる事項に対し、考えられる取り組み、活用可能性がある資源等について意見・情報を収集。

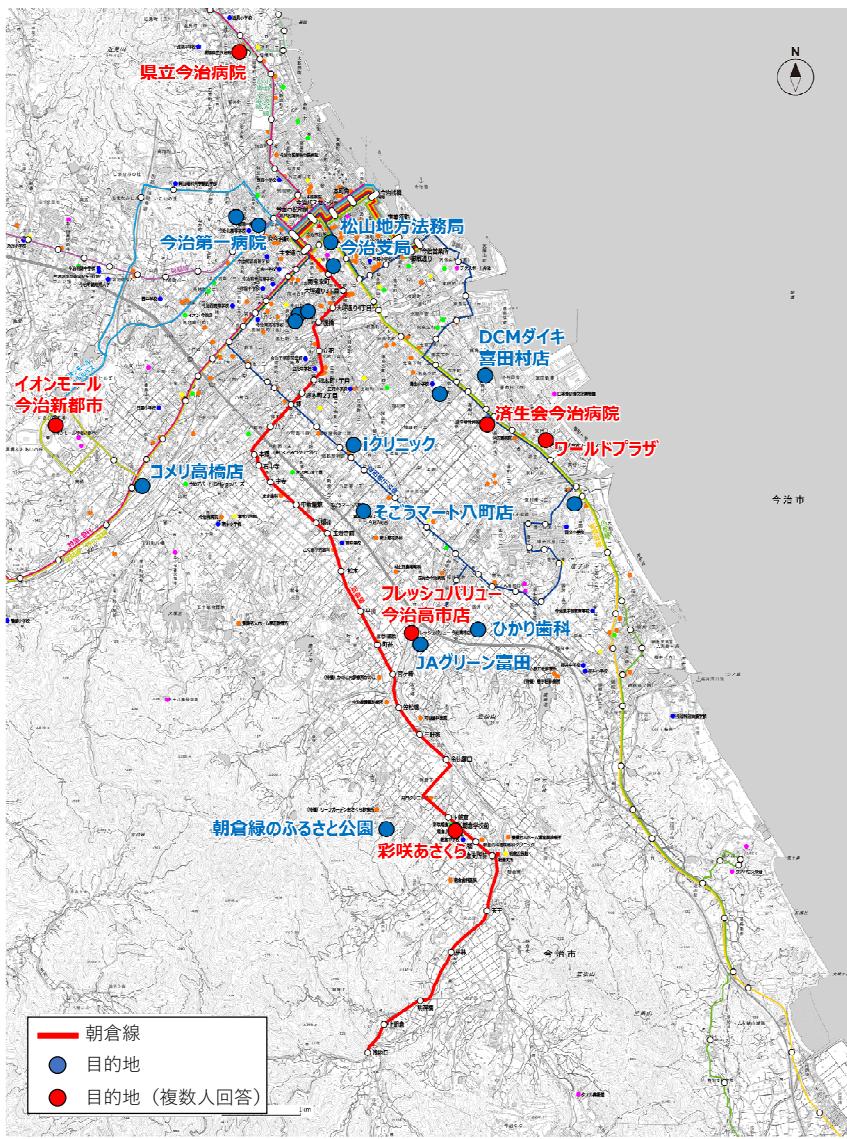
次第	内容	時間
1. 開会のあいさつ	ワークショップの進め方等について説明	5分
2. 第1回WSの振り返り	第1回で議論した結果について説明	5分
3. 地域交通の見直しの方向性	・見直しのイメージ案とそれぞれの課題について説明 ・課題に対する工夫事例を紹介	20分
4. 意見交換	どの見直しの方向性がよいか、課題に対応するため地域ではどんなことならできそうか等について意見交換	40分
5. 発表	意見交換の内容について共有	15分
6. 閉会のあいさつ	スケジュール、アンケートの説明	5分
		計90分

■第1回wsの実施結果（移動実態・ニーズの把握について）

- ・基本的に**自動車**が利用されているが、免許返納後の移動について**不安を抱える**人が多い。
- ・**利用が少ないバス路線**や**大型の車両**等はないと考えられている。
- ・一方で、**通院（済生会病院等）**、**まちなかへの移手段**の確保が必要と考えられている。
- ・自宅前・周辺から目的地まで**細かくにカバーする交通**が必要と考えられている。

<移動実態について（普段の主な目的地・移動パターン等）>

- ・基本的に移動には**自動車**が利用されている。
- ・普段の移動は、済生会病院や県立今治病院等への**通院**や、スーパーへの**買い物**が多い。
- ・一方で、朝倉支所周辺の**個人病院**や、農協も一定数利用されている。



<バスの改善・工夫について>

- ・朝倉線をそのまま走らせるのは税金の使い方として問題があるのではないか。
- ・山側の路線（朝倉支所～浅地口区間）をなくして小型車両でカバーするようにしてはどうか。
- ・足が悪い人でも移動ができるように、家の前～目的地まで運行してくれるサービスが必要。
- ・病院やスーパーを経由する便があってもよいのではないか。毎日だけでなく、病院に行く都合に合わせて、予約があるときだけ運行するのもよい。

■第2回wsの実施結果（見直しの方向性について）

- ・少ない便数であっても、**済生会病院まで行くことができる運行の形**が良いと考えられている。
- ・デマンド導入だけでなく、**公共交通NW全体で利用しやすい形**を構築すべきと考えられている。
- ・**福祉分野との連携**や、**地域資源の活用**等の工夫・対応が必要ではないかと考えられている。

<第1回WSの意見を踏まえた基本的な見直しの考え方・方向性>

- ・ほとんど利用されていない朝倉支所～浅地口までの区間の効率化を図る
- ・自動車が利用できなくても、通院や買い物等に行けるよう、生活ニーズに合った形に見直す

<p>①朝倉支所以降を小型化・デマンド型運行で効率化しつつ、生活ニーズに応じた形で対応</p>	<p>②さらに方向性案①を、より生活ニーズに応じた形でエリアを広げて運行</p>
<p><一番良いと考える方向性案と理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし 	<p><一番良いと考える方向性案と理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・便数が少なくても、ニーズが大きい済生会病院まで行ける方がよい。
<p><運行イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし 	<p><運行イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・済生会病院までのルート上にある商業施設等にも停まれるようにする。
<p><必要な工夫・対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし 	<p><必要な工夫・対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドの導入にあわせて、既存路線を高校経由のルートに変更する、桜井線に接続する等、全体のNWとして考えることが必要

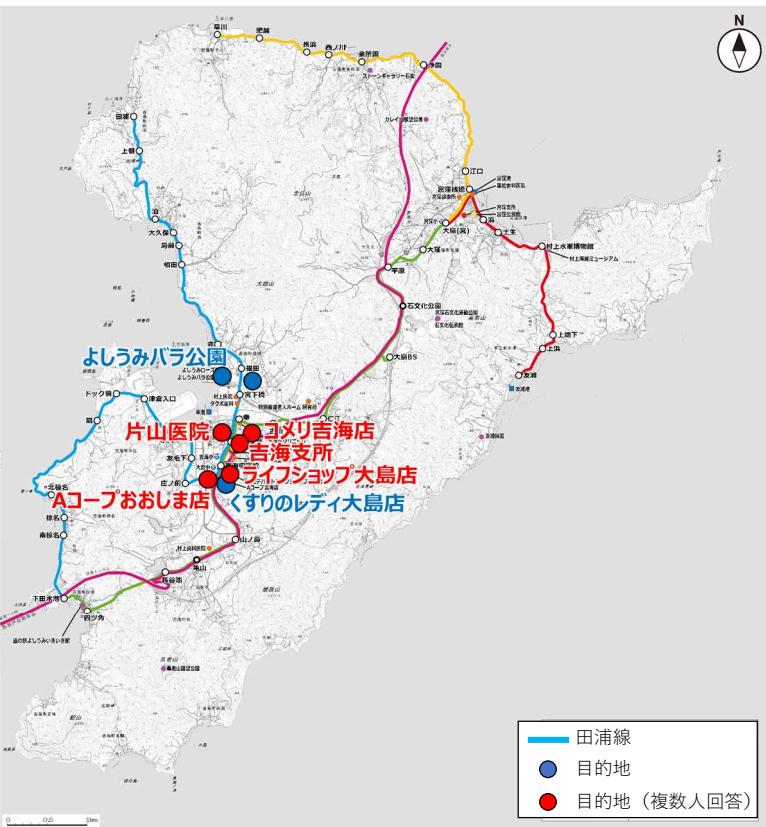
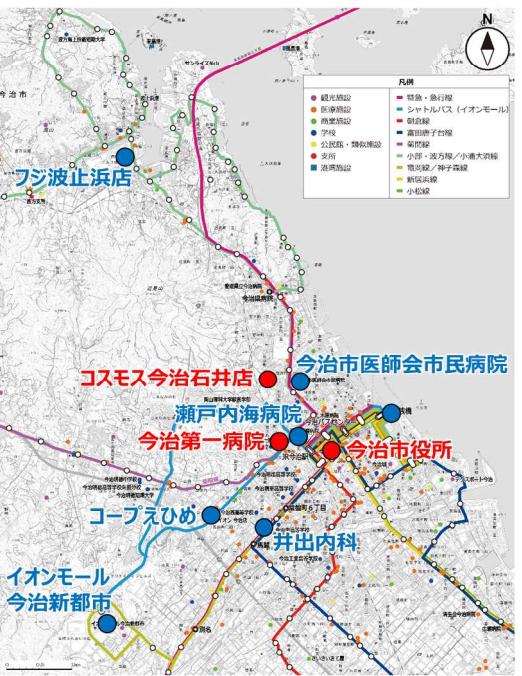
- <共通意見>
- ・利用が少ないので、定期運行ではなく、予約に応じて運行する形がよい。
 - ・福祉と連携し、本当に支援が必要な人にサービスが行き届く形にする。（福祉バスの運行、タクシーチケットの配布等）
 - ・保育園のバス等の資源の活用も考えられる。

■第1回wsの実施結果（移動実態・ニーズの把握について）

- ・ **自動車**や**友人等による送迎**が基本となっているが、免許返納後について**不安を抱える**人が多い。
- ・ **利用が少ないバス路線**や**大型の車両**等はないと考えられている。
- ・ 一方で、地域の移動を支える**田浦線は存続させてほしい**という意見もみられた。
- ・ **島内の支所周辺施設**、**陸地部の病院**への移動手段の確保が必要であると考えられている。
- ・ 自宅前・周辺から目的地まで**細かくにカバーする交通**が必要と考えられている。

<移動実態について（普段の主な目的地・移動パターン等）>

- ・ 自動車や友人等による送迎が移動の基本となっている。
- ・ 普段の移動は、島内の支所周辺に位置するスーパー等への買い物が多い。
- ・ また、今治第一病院等、陸地部の大きな病院への通院のニーズも大きい



<バスの改善・工夫について>

- ・ 小型化してより細かいルートを実行する等、効率化を図るべき
- ・ 利用の無い、少ない路線・区間は廃止も仕方がない。拠点となるバス停を設定し、そこまでの足を確保することが必要
- ・ 買い物や通院を支援することを目的に運行するバスがあってもよい
- ・ 田浦地区に住む者としては、将来、田浦までのバスは存続して欲しい
- ・ 小型化してより細かいルートを実行する等、効率化を図るべき
- ・ 家の前～目的地まで運行してくれるサービスが必要ではないか
- ・ スクールバスへの混乗ができれば、路線バスは必要ないのではないか

■第2回wsの実施結果（見直しの方向性について）

- ・ 減便は現状の改善につながらないため、**デマンド運行に転換**する方がよいと考えられている。
- ・ 下田水港まで運行しない等、**ニーズに応じた形で効率化**を図るべきと考えられている。
- ・ 地域でできる工夫として、**地域での声掛け**や**地域のNPOとの連携**等が挙げられた。

<第1回WSの意見を踏まえた基本的な見直しの考え方・方向性>

- ・ 利用が少ない便を廃止し、効率化を図る
- ・ 自動車が利用できなくても、通院や買い物等に行けるよう、生活ニーズに合った形に見直す

①現在のバス路線を基本に利用が少ない便の効率化を図る	②小型化・デマンド型の運行で効率化しつつ、できるだけ生活ニーズに応じた形で対応
<p><一番良いと考える方向性案と理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見なし 	<p><一番良いと考える方向性案と理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田浦に住む者としては、吉海支所まで行ければよい。田浦～下田水港までは必要ない。 ・ 現状は友人や家族に送迎してもらっていることが多いが、事故の心配があるので、運行体制が整っている事業者に運行してもらおう方がよい。
<p><運行イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見なし 	<p><運行イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期運行ではなく、需要に応じた事前予約制のデマンド運行でよい。
<p><必要な工夫・対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見なし 	<p><必要な工夫・対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のNPO団体と連携し、ボランティアドライバーをお願いすることも考えられる。

- <共通意見>
- ・ ある程度の不便は仕方がない。最低限のサービス水準でよいので移動手段は維持すべき。
 - ・ 利用しないとなくなるということを認識し、地域で利用するように声掛けしないといけない。